

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス きっずぱーく+		
○保護者評価実施期間	令和 8年 2月 4日		～ 令和 8年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○従業者評価実施期間	令和 8年 2月 4日		～ 令和 8年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	17名	(回答者数) 15名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 3月 30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの思い・ご家族の思い等にも耳を傾け、平日(月曜日～金曜日)は色々な療育い取り組んでいる。土曜日・長期休みには色々な経験が出来る様に行事を組み立てている。	療育については、毎月1回「療育会議」で話し合いをしている。個人療育・集団療育については毎年3月に1年間の評価をし保護者さまへお知らせしている。	子どもが前向きにそして楽しく取り組める様に療育の内容を今後も検討し支援する。
2	活動内容について子ども達だけで話し合い、決めて取り組める様に「フリーの活動」を長期休みには設定し可能な限り実現している。	集団での話し合いの場面で、一人ひとりが意見を出し合える様に職員は見守り、必要に応じて助言をしている。	今後は「フリーの活動」が終わった後に子ども達同士で活動した結果を話し合い、その結果次回は「こうしよう」といった取り組みが出来る様に支援していく。
3	色々な経験を積み、考える力・適応する力・状況判断力等が見に着けられる様に支援している。	外出行事・季節の折々の工作・手作りおやつ等、色々な取り組みを行っている。	普段の子どもとの会話の中からヒントをもらったりしながら企画していく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援の観点から、保護者様や家族が参加できる研修会や情報共有の機会が少ない。	参加の促しではなく研修会や支援方法等、情報発信は中心だった。	ご家族参加型の研修会や勉強会の開催について、今後検討していく。
2	保護者同士の交流する機会が少ない。	「お花見会」等、保護者様参加型の行事を企画するが、お仕事をされている保護者様が多い為参加が少なかった。	今後も保護者参加型の行事企画をする。
3			